

よこすか ECO通信

No.48
(令和5年3月)



《発行》
横須賀市、
環境教育・環境学習推進懇話会

「ECO」な移動でスマートに出かけよう！

電車やバス、自転車、徒歩など、いろいろな移動手段がありますが、みなさんはどんな移動手段を使うことが多いでしょうか？

通学や通勤、買い物、旅行など、わたしたちは毎日いろいろな目的でいろいろな場所へ出かけています。「移動」は日々の暮らしの中で欠かせないものですが、一方で、横須賀市のCO2排出量の約四分の一が「移動」に関するものであるというデータもあり、温暖化対策を考える上でも「移動」は欠かせないポイントになります。

人が1km移動するときのCO2排出量は移動手段によって異なり（マイカーでは145g、バスでは66g、鉄道では20g、自転車や徒歩はもちろんCO2排出量 0g！）、住んでいる地域や目的地、個人の事情によっても異なるため、状況に応じて、よりよい移動手段を選びましょう。また、エコな移動は環境に良いだけでなく、健康や快適さも得ることにつながります。

◆「横須賀市EVカーシェア」がスタートしました！



横須賀市EVカーシェア
by e



横須賀市では、EV（電気自動車）の普及促進を目的に、2月13日からEVカーシェアリング事業を開始しました。市役所に導入されたEV2台（日産リーフとサクラ）を、平日は公用車として市の職員が使用し、公用車を使用しない土日・祝日は市民のみなさんが使用することができます。

予約から利用・返却・支払までスマートフォンアプリ1つで完結。入会費や月会費はゼロで、使った分だけの料金でEVを使用できます。

お出かけの際には「EVカーシェア」を活用してみませんか？詳しくは「横須賀市EVカーシェア」サイトをご覧ください。

（<https://www.ev-share.jp/yokosuka/>）

◆smart moveで移動をエコに

環境省は、移動をエコにするライフスタイルの提案として「smart move（スマートムーブ）」を挙げています。エコだけでなく、健康や快適さにもつながる、新しいライフスタイルに取り組んでみましょう。

smart moveが推進する5つの取り組み

- 取組1 公共交通機関を利用しよう …… 電車やバス等はCO2排出量が少ない移動手段です。
- 取組2 自転車・徒歩を見直そう …… CO2排出量ゼロ。使い方次第で健康面や利便性にも効果的。
- 取組3 自動車の利用を工夫しよう …… エコドライブは燃費向上や安全にもつながります。
- 取組4 長距離移動を工夫しよう …… 旅行や出張などの際は公共交通機関を上手に活用しましょう。
- 取組5 地域や企業の移動・交通における… カーシェアリングやコミュニティサイクルなどの取組が拡大中。CO2削減の取組に参加しよう

☆2面は「春の環境学習イベントのお知らせ」、3面は「季節の自然図鑑」を掲載しています。



春の環境学習イベントのお知らせ

◆横須賀いきもの調査隊

横須賀の自然に興味のある方、「横須賀いきもの調査隊」になって楽しく生き物について学び、調査してみませんか？最初は生き物の名前を知らなくても、博物館の学芸員や専門家の先生たちが、やさしく生き物の名前や見分け方を教えてくれます（春と秋の合計2回の自然観察会（延期日も含めてすべて）に参加できる方対象）。

日時	4月30日(日)、9月16日(土) 9:30~12:00、13:00~15:00（希望者には午後の部もあり） ※雨天順延（4月30日⇒5月14日、9月16日⇒9月18日）
場所	長坂緑地 沢山池の里山（長坂5丁目）
対象	市内在住・在勤・在学の5歳以上（小学生以下は保護者同伴）
費用	無料
定員	抽選20人（1組あたり5人まで）
応募方法	4月10日(月)~4月20日(木)に「ネット申込」から (https://www.yokosuka-yksk.jp/index.html)



◆親子田んぼ体験

「田植え」と「稲刈り」を行う全2回の田んぼ体験です。
お米を作るための大切な2つの作業を通して、里山的環境の保全を体験します。

日時	5月21日(日)、9月24日(日)（全2回） 10:00~12:00 ※雨天決行・荒天中止
場所	長坂緑地 沢山池の里山（長坂5丁目）
対象	市内在住・在勤・在学の親子
費用	1組あたり2,000円×全2回
定員	抽選20組（1組あたり5人まで）
応募方法	4月17日(月)~5月7日(日)に「ネット申込」 (https://www.yokosuka-yksk.jp/index.html) または「横須賀市の里山」から (https://yokosuka-satoyama.jp/)



問い合わせ先
横須賀市建設部自然環境共生課
電話：046-822-9749
E-mail：ne-ep@city.yokosuka.kanagawa.jp

◆緑のカーテン作り方講習会

ゴーヤなどのツル性の植物を窓の外でカーテンのように育てて日陰を作る「緑のカーテン」の作り方を講師がわかりやすく説明します。
受講者にはゴーヤの苗をプレゼント。



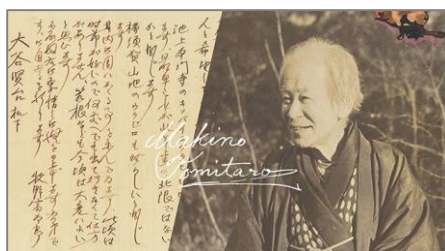
日時	5月8日(月) 14:00~15:30
場所	ヴェルクよこすか（勤労福祉会館）6階ホール
費用	無料
対象	市内在住・在勤・在学の人
定員	先着100人
応募方法	4月11日(火)~4月25日(火)に横須賀市コールセンター（046-822-2500） または「ネット申込」から (https://www.yokosuka-yksk.jp/index.html)

問い合わせ先

横須賀市地球温暖化対策地域協議会事務局
（横須賀市ゼロカーボン推進課内）
電話：046-822-8524
E-mail：stop-ondanka@city.yokosuka.kanagawa.jp

横須賀市自然・人文博物館企画展示

◆牧野富太郎がみつめた植物 —植物標本が語るもの—



日本を代表する植物学者・牧野富太郎の標本を紹介するとともに植物標本の魅力や価値にせまります。

日時	3月18日(土)~6月18日(日) 9:00~17:00
場所	横須賀市自然・人文博物館 特別展示室
費用	無料

問い合わせ先

横須賀市自然・人文博物館（横須賀市深田台95番地）
TEL 046-824-3688
Email：m-bes@city.yokosuka.kanagawa.jp



あたたかくなり、様々な花がみられるようになりました。2023年4月からは、日本を代表する植物分類学者・牧野富太郎博士（1862-1958）がモデルとなる連続テレビ小説「らんまん」（NHK総合）がはじまります。この春は、ますます「植物」に目を向けることとなりそうです。

3月に入り、博物館のまわりではタチツボスミレ（スミレ科スミレ属）の花が咲きはじめました。タチツボスミレは横須賀市のみならず神奈川県内全域に分布し、生育場所も山林から草地、道端に至るところでみられるスミレの仲間です。

タチツボスミレは、ペリー艦隊のモローとウィリアムズが横浜で採集し、この標本を基準として1856年にハーバード大学のA.グレイが新種記載しました。本種には、白花の品種「シロバナタチツボスミレ」があり、これは牧野博士が記載しています。横須賀市内では、観音崎や光の丘水辺公園で発見されています。

ほかにも、箱根の乙女峠で博士が発見した「オトメスミレ」や、花が緑色の「ミドリタチツボスミレ」もタチツボスミレの品種として博士が記載しています。「ミドリタチツボスミレ」はタチツボスミレと区別しない見解がありますが、いずれも、それぞれ横須賀市内で見つかる可能性があります。

さらに、牧野博士は香りのある花をつける「ニオイタチツボスミレ」という種も記載しました。花柄に毛があることと、花の色がタチツボスミレより濃く中心が白く目立つことから、タチツボスミレと区別できるようです。林内や草地、海岸近くにも生育し、横須賀市内でも確認されています（海岸に生育する個体を変種として区別する見解もあります）。こちらも探して香り確かめたいですね。

牧野博士は、著書『植物誌』の中で「どんな人でもスミレを可愛らしいものとして礼讃しない者は無いであろう」と述べています。スミレは種類が多く、見分けることがやや大変なグループではありますが、スミレを探して春の訪れを感じてみてはいかがでしょうか。

参考：山田隆彦2018. スミレ科. 神奈川県植物誌調査会編、『神奈川県植物誌2018』



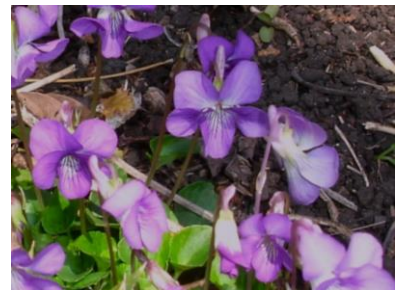
タチツボスミレ
撮影地：馬堀自然教育園



シロバナタチツボスミレ
撮影地：光の丘水辺公園
撮影者：石橋美晴



オトメスミレ
撮影地：鎌倉市



ニオイタチツボスミレ
撮影地：仙元山（葉山町）
撮影者：大前悦宏

2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指します

横須賀市 ゼロカーボンシティ宣言



みなさまからのE C Oな情報も募集してます。



《発行》横須賀市／環境教育・環境学習推進懇話会 《協力》横須賀市自然・人文博物館

《発行元》〒238-8550 横須賀市小川町11番地 横須賀市環境部ゼロカーボン推進課

TEL: 046-822-8327 FAX: 046-824-5630

E-mail: ep-ep@city.yokosuka.kanagawa.jp

☆カラー版は横須賀市ホームページから「ECO通信」で検索！
<https://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/4110/k-gakusyu/ecotushin/ecotushin.html>



☆「環境教育・環境学習推進懇話会」は、市民・事業者・学校・行政等のさまざまな主体が集まり、連携して市内全体の環境教育・環境学習の推進を図るための会議です。